

**趣旨**

- 消費者基本計画(平成27年3月24日閣議決定)を踏まえ、  
どこに住んでいても質の高い相談・救済を受けられ、安全・安心が確保される地域体制を全国的に整備
- ✓ 地方消費者行政のための交付金を通じ、地方における計画的・安定的な取組を支援
- ✓ 地方の自主性・独自性を確保しつつ、交付金を通じた当面の政策目標を設定

**当面の政策目標**

- 都道府県ごとに以下の目標を達成することを目指し、地方公共団体の取組を支援

**<政策目標1> 相談体制の空白地域の解消**

- 1-1 相談窓口未設置の自治体(市町村)を解消

**<政策目標2> 相談体制の質の向上**

- 2-1 消費生活センターの設立促進  
(人口5万人以上の全市町及び人口5万人未満の市町村の50%以上)

**【消費生活相談員】**

- 2-2 管内自治体(市区町村)の50%以上に配置
- 2-3 資格保有率を75%以上に引き上げ
- 2-4 研修参加率を100%に引き上げ(各年度)

**<政策目標3> 適格消費者団体の空白地域の解消**

- 3-1 適格消費者団体が存在しない3ブロック(東北、北陸、四国)における適格消費者団体の設立支援

**<政策目標4> 消費者教育の推進**

- 4-1 消費者教育推進計画の策定、消費者教育推進地域協議会の設置(全都道府県・政令市)

**<政策目標5> 「見守りネットワーク」の構築**

- 5-1 消費者安全確保地域協議会の設置(人口5万人以上の全市町)